

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 西東京市

1 事業の趣旨・目的

市内で活動中の日本語学習支援を行うボランティアに対し、幅広い視点の外国人支援をテーマとする講座を実施するとともに日本語学習支援活動の向上をはかる具体的指導法講座を実施し、ボランティア活動を支援する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
4月22日	多文化共生センター	佐々木瑞枝 木下伸子 山辺真理子 久保芳昭 三石貴哉	講座の内容について	講座スケジュール、講師、テーマ、概要について話し合った。
5月20日	多文化共生センター	佐々木瑞枝 木下伸子 山辺真理子 久保芳昭 三石貴哉	受講生の決定、多文化理解講座について	講座受講生の決定、理解講座の内容について話し合った。
7月22日	多文化共生センター	佐々木瑞枝 木下伸子 山辺真理子 久保芳昭 三石貴哉	日本語ボランティアフォローアップ講座について	講座の進捗状況、講座後半の学習テーマについて話し合った。
12月17日	多文化共生センター	佐々木瑞枝 木下伸子 山辺真理子 久保芳昭 三石貴哉	養成講座の振り返りについて	講座の報告と反省について話し合った。

3 養成講座の内容について

(1) 養成講座名

日本語学習支援を行うボランティアのフォローアップ・多文化理解講座

(2) 養成講座の目標

現在市内で活動中の日本語ボランティアを対象とし、様々な分野で外国人支援を行っている専門家による外国人の置かれている現状や多文化共生の理念をテーマとした講座を行うことで、日本語学習支援にとどまらない日常的な外国人支援について学び、日頃のボランティア活動に幅広く役立てる。講座の後半では、日本語文法や具体的な指導法について学び、ボランティアのレベルアップと定着化を図る。

受講者の総数 35人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 日本 35人)

(3) 開催時間数(回数) 22時間 (11回)

(4) 参加対象者の要件 日本語教室で活動中のボランティアであること。

(5) 受講者の募集方法

市内日本語教室にメールで受講生を募集した。公開講座4回については市報等で受講生を募集した。

(7) 研修会場

イングビル、田無庁舎、田無公民館

(8) 使用した教材・リソース

『にほんごこれだけ！1』ほか、各講師が提供する教材

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月15日	多文化化する日本社会と多文化ボランティアの役割	東京外国語大学多文化・多言語研究センター プログラムコーディネーター 杉澤 経子	40人
6月13日	地域社会における外国人の居場所	四谷ゆいクリニック 石塚 昌保	41人
6月26日	地域社会における通訳・通訳ボランティアについて	横浜市国際交流協会 藤井 美香	33人

7月4日	災害時の外国人支援	多文化共生センター東京 田村 太郎	32人
9月24日	「やさしい日本語」について	一ツ橋大学教授 庵 功雄	34人
10月1日	『にほんごこれだけ!』を使ったおしゃべり型活動の方法	国立国語研究所 森 篤詞	33人
10月8日	『にほんごこれだけ!』を使ったおしゃべり型活動の実践1	国立国語研究所 森 篤詞	32人
10月15日	『にほんごこれだけ!』を使ったおしゃべり形活動の実践2	国立国語研究所 森 篤詞	35人
10月29日	子どものやる気を引き出す素材を考える	東京女子大学教授 谷 啓子	21人
11月19日	事例検討～役立つ・使える教材を作ってみよう(1)	東京女子大学教授 谷 啓子	16人
12月10日	事例検討～役立つ・使える教材を作ってみよう(2)	東京女子大学教授 谷 啓子	16人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

別添(アンケート結果)参照

② 実施主体からの研修内容結果評価

全11回の講座のうち4回の講座では、日本語学習支援にとどまらない外国人支援に関する講義を行い、日頃より外国人と接する機会が多く、多岐に渡る相談を受けることが多い日本語ボランティアの多文化共生に関する理解を深め、講座のワークショップ等を通して、他の日本語教室のボランティアとの新たなネットワークを築くことができた。後半の日本語ボランティアフォローアップ講座では7回のうち、4回を日本語文

法や具体的指導法に関する講座とし、3回を子どもを対象とした日本語学習支援に関するワークショップを行った。ボランティア活動上の、日本語文法が分からないことに対する不安等を解消することができ、ワークショップでは実際に教材を開発することで、外国にルーツを持つ子どもたちの抱える課題を具体的に考えることができた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

今後も日本語学習支援を行うボランティアのフォローアップ講座等を実施して、ボランティアの活動を支援するとともに、日本語学習に限定されず幅広く多文化共生のために活動するボランティアの育成を行い、多角的な外国人支援体制を築く。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

本講座のうち、4回を公開講座とし、受講生以外の市民一般、通訳ボランティア登録者も参加した。12月に実施した外国人のためのリレー専門家相談会でご協力いただく通訳ボランティアの研修にもなった。また市内の国際交流団体と協働して実施することで、日本語学習支援に限らない多角的な外国人支援を視野に入れた講座を運営することができた。

② 研修後の人材活用

本講座の受講生はすでに市内の日本語教室で活動を行っているが、引き続き継続して活動できるようにする。日本語学習支援を行うボランティアとしてだけでなく、通訳ボランティアや国際交流ボランティアとして、人材を共有していく。

(12) 今後の課題

現在活動中の日本語ボランティアから、日本語文法や指導法などについてスキルアップしたいという要望が上がっている。新規のボランティアの養成講座とともに、活動中のボランティアを対象としたフォローアップ講座を企画し、ボランティア活動を支援したい。講座の回数や種類が増加傾向にあるため、国際交流団体等への委託化を勧め、事業の効率化を図りたい。

①『多文化化する日本社会と多文化ボランティアの役割』アンケート結果

日 時 平成 22 年 5 月 15 日（土）午後 1 時～3 時

場 所 田無庁舎 202・203 会議室

講 師 杉澤 経子さん（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター）

参加人数 40 人

■ 講演会の内容について（アンケート回収 36 枚）

よく理解できた 34 人

あまり理解できなかった 1 人

その他 1 人

- ・ お話を通じて自分がイベント・ボランティアとして、活動できそうであることが判りました。
- ・ 違いを前提に外国人に接することは相互に大切と思った。人と人として接する
- ・ ことができれば多文化を共有でき相互理解が深まるのではと思った。

②『地域社会における外国人の居場所』アンケート結果

日 時 平成 22 年 6 月 13 日（土）午後 1 時～3 時

場 所 田無庁舎 202・203 会議室

講 師 石塚 昌保さん（四谷ゆいクリニック）

参加人数 41 人

■ 講演会の内容について（アンケート回収 34 枚）

よく理解できた 30 人

あまり理解できなかった 0 人

その他 4 人

- ・ 5 人グループの話し合いでいろいろな話をきけて良かったです。子供の話をもう少し詳しく適応指導教室のことなど伺いたかったです。ありがとうございました。
- ・ 外国人の現状や、外国人への支援について知るチャンスになりました。今後のサポートを考える時間でした。

③『地域における通訳・通訳ボランティア～コーディネートなど運営面の課題』アンケート結果

日 時 平成 22 年 6 月 26 日（土）午後 1 時～3 時

場 所 田無公民館 視聴覚室

講 師 藤井 美香さん（横浜市国際交流協会）

参加人数 33 人

■ 講演会の内容について（アンケート回収 27 枚）

よく理解できた 26 人

あまり理解できなかった 1人

その他 0人

無記入 0人

- ・ 具体的な活動に基づいたお話でとても分かりやすく、ためになった。
- ・ 通訳する側の意見のほかにも、通訳を受ける側の立場による話も聞きたかった。相手の立場をどう受けるかなど。
- ・ コーディネートする側の思い、実際の現場に立ってこられたボランティアさんの思い、どちらも伝わってきました。西東京市にあった良いシステムがつくられてゆくことを望みます。

④『災害時の外国人支援』アンケート結果

日 時 平成22年7月4日（日）午後1時～3時

場 所 田無公民館

講 師 田村 太郎さん（多文化共生センター東京）

参加人数 32人

■ 講演会の内容について（アンケート回収26枚）

よく理解できた 26人

あまり理解できなかった 0人

その他 0人

- ・ 具体的な事例をたくさんいただき、大変勉強になりました。外国人も防災意識はあるが、どうすればよいのかは分からない。切口として、外国人の子供から大人まで巻き込むように、消防少年団などの参加をすすめるように提案したいです。
- ・ 今回の講演は外国人支援という面のみならず、私たち自身の問題としても重要な問題として大変ためになりました。

⑤『「やさしい日本語」について』アンケート結果

日 時 平成22年9月24日（木）午後2時～午後4時

場 所 イングビル 第3・4会議室

講 師 庵 功雄さん（一橋大学）

参加人数 34人

■ 講演会の内容について（アンケート回収31枚）

よく理解できた 30人

あまり理解できなかった 0人

その他 1人

- ・ 日常使用している言葉をやさしい日本語に言い換えることの難しさを感じました。日本語を母語とする日本人にもやさしい日本語に翻訳する努力が必要だと思いました。

- ・ 外国人にも理解できるやさしい日本語を身につける必要性を理解できましたが、少ない文法でそれを表現することはとても難しいと思いました。

⑥ 「『にほんごこれだけ！』を使ったおしゃべり型活動の実践1」アンケート結果

日 時 平成22年10月1日（金）午後2時～午後4時

場 所 イングビル 第3・4会議室

講 師 森 篤嗣さん（国立国語研究所）

参加人数 33人

■ 講演会の内容について（アンケート回収26枚）

よく理解できた 24人

あまり理解できなかった 0人

その他 2人

- ・ 日本語ボランティア活動に対する考え方がよく理解できた。
「日本人・外国人対等の市民活動である」という話に今までのもやもやした気持ちがすっきりして納得しました。
後半のボランティアの態度、聞く・待つ、大切さがよくわかりました。
- ・ 地域型の活動ではどういうことが大事かということがとてもよくわかりました。文法積み上げ式は難しいなど、実際に今、体験していることなので、実感として理解できました。現実の生活の場面で使える表現がより大切ということはわかっているつもりでしたが、さらに実践していきたいと思いました。“みんなの日本語”テキストをよく使っていましたが、少し使い方を考えたほうが良いと思いました。“待つこと”も次からはもっと心がけたいと思います。

⑦ 「『にほんごこれだけ！』を使ったおしゃべり型活動の実践2」アンケート結果

日 時 平成22年10月8日（金）午後2時～午後4時

場 所 イングビル 第3・4会議室

講 師 森 篤嗣さん（国立国語研究所）

参加人数 32人

■ 講演会の内容について（アンケート回収24枚）

よく理解できた 24人

あまり理解できなかった 0人

その他 0人

- ・ すぐ使えるような実践的な話やロールプレイができて楽しく有意義でした。
- ・ 楽しくあっという間に2時間が過ぎました。
ロールプレイングはなかなか難しいと思います。「にほんごこれだけ」はすぐ試してみます。

⑧「『にほんごこれだけ！』を使ったおしゃべり型活動の実践3」アンケート結果

日 時 平成22年10月15日（金）午後2時～午後4時

場 所 イングビル 第3・4会議室

講 師 森 篤嗣さん（国立国語研究所）

参加人数 35人

■ 講演会の内容について（アンケート回収30枚）

よく理解できた 30人

あまり理解できなかった 0人

その他 0人

- ・ レベル・認定試験の真の意味も考えさせられました。相手のニーズを読み取り、相手の生活の質を上げるお手伝い、これが地域ボランティアの役割と実感しました。非常に実質的な目的なのですね。
- ・ 外国人の人と同じ社会人として会話しながら生活の向上に役立つ日本語の支援をしたいと強く感じました。

⑨「子どもの日本語学習支援1」アンケート結果

日 時 平成22年10月29日（金）午後1時～午後3時

場 所 イングビル 第3・4会議室

講 師 谷 啓子さん（東京女子大学教授）

参加人数 21人

■ 講演会の内容について（アンケート回収13枚）

よく理解できた 13人

あまり理解できなかった 0人

その他 0人

- ・ グループで話し合いを始めたとき盛んになってしまいました。具体的に行うためには教材も具体的にしていけるべきで、その行程が難しいんですよね。次回3人で何かを作り上げていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 実際の対応例を詳しく教えてくださり、理解しやすかったです。
- ・ すぐにでもやってみたいアイデアがあり、ワクワクしました。ワークショップも楽しみです。

⑩「子どもの日本語学習支援2」アンケート結果

日 時 平成22年11月19日（金）午後1時～午後3時

場 所 イングビル 第1・2会議室

講 師 谷 啓子さん（東京女子大学教授）

参加人数 16 人

■ 講演会の内容について（アンケート回収 13 枚）

よく理解できた 10 人

あまり理解できなかった 0 人

その他 3 人

- ・ 1 人ではなかなか進まない作業が、グループだといろいろな意見が出て興味深く取り組むことができました。
- ・ 多々資料の紹介をしていただいてありがとうございました。
- ・ 本日はワークショップでたくさんの意見が出ました。教材として、実践に使えるものを作製できたと思います。

⑪「子どもの日本語学習支援 3」アンケート結果

日 時 平成 22 年 12 月 10 日（金）午後 1 時～午後 3 時

場 所 イングビル 第 1・2 会議室

講 師 谷 啓子さん（東京女子大学教授）

参加人数 16 人

■ 講演会の内容について（アンケート回収 10 枚）

よく理解できた 10 人

あまり理解できなかった 0 人

その他 0 人

- ・ いろいろなグループの発表がすばらしく、勉強になった。
これからも日々努力をし、楽しんで活動が続けたいと思う。
- ・ 力作ぞろいで「なんてすばらしい人たちと教室をやってきたのだろう！」と改めて、感心しました。
そして谷さんのコメントにも「さすが着眼点がちがう！」と感動しました。いい時間を過ごせたと思います。参加して良かったです。
- ・ 実際に教材を作ってみるという貴重な体験ができてよかった。
皆さんの発表を見て、スタッフのバックグラウンドが反映されていておもしろかったです。